

区議会レポート

79号



葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：第三回定例会報告など

裏面：タウンミーティング報告など

2021年10月12日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

fax 03-3697-0137

葛飾区議会 令和3年第三回定例会報告

◆第三回定例会閉会：9月7日に開会した令和3年葛飾区議会第三回定例会が10月4日に閉会しました。

◆第五次補正予算議決：今定例会では新型コロナ対策を含む第五次補正予算48億1千9百万円を議決しました。

◆決算審査特別委員会開催：9月24日から決算審査特別委員会が設置され、4つの分科会において款項別に令和二年度葛飾区決算が審査され、認定されました。

◆意見書：「選択的夫婦別姓制度の法制化に関する議論を求める意見書」「京成本線高砂駅から江戸川駅付近における鉄道立体化の早期実現に向けた意見書」他1件採択。

◆今任期最後の定例会となり、四年間の総決算として臨みました。公文書管理や災害対策、教育環境の充実、また、新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の行財政改革など課題は山積しています。次の任期でも引き続き取り組めるよう、頑張っています。

埼玉・東京での震度5強(M5.9)地震情報について

- 1) 地震情報 ●発生時刻：10月7日22時41分 ●震源地：千葉県北西部 ●最大震度：5強(葛飾区 震度4)
- 2) 区内の状況 ●本田・金町消防署管内人的被害なし ●漏水5か所(原因は水道管ではなく空気弁の不具合とのこと) エレベーター停止報告あり
- 3) 区施設の状況 ●区役所庁舎：本館4階一部水漏れ ●保健所：発災後職員参集しワクチン保管用冷凍庫など点検・異常なし

今後の葛飾区の選挙日程について

◆衆議院総選挙 公示10月19日(火)、投・開票10月31日(日)

◆区長・区議会議員選挙 告示10月31日(日)、投票11月7日(日)・開票8日(月)

◆衆議院議員選挙の投票日が区長・区議会議員選挙の告示日と重なる異例の日程となりました。この葛飾区では2週間続けて選挙となります。国政と区政の今後を決める大切な選挙です。多くの方に関心を持っていただきたいと思います。なお、衆議院選挙が始まる10月19日以降は、公職選挙法により衆議院選挙以外の政治活動は禁止されています。この区議会レポートの配布やタウンミーティングもできなくなることをご了承いただきますようお願いいたします。

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail: info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動はFacebookをご覧ください。

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●昭和38年3月川崎市生まれ ●立石在住33年 ●防災士 ●東海大学第二工学部建設工学科卒業 ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団班長 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●保育園学童保育クラブ父母会、小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、保田しおさい学校、三番瀬保全活動などに携わる。 ●元都議会議員秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●立憲民主党 ●区議会所属：文教委員会副委員長／地域活性化・区民サービス向上対策特別委員会／広報委員会

令和2年度葛飾区決算審査特別委員会 分科会報告

◆第三回定例化において、決算審査特別委員会が設置され、款項別の分科会で令和2年度決算が審議されました。かわごえ誠一は総務費等を所管する第一分科会と教育費等を所管する第四分科会に所属し、議論しました。以下、ふたつの分科会でのかわごえの主な発言をご報告します。

■ 第一分科会 総務費関係 ■

総務管理費の文書管理経費は、公文書の重要性に鑑み区有施設に分散している現状の保管状況を早急に整理し、公文書管理条例の制定を求める。区史編さんは機会を捉えて情報を更新すること及び、そのための検証体制の検討を求める。また、区制100周年に向けた準備を求める。

災害対策経費において、踏切事故や災害時ににより緊急車両が通行できないなどの事案から国では6月に踏切道改良促進法改正がされたが、区としても早急に危機管理体制の構築を求める。

区民費での文化振興経費は文化芸術へのイベント助成について、感染症対策としてライブ配信等についても助成対象とするなど制度の拡充を求める。

産業経済費での新型コロナウイルス対策緊急融資事業経費は区があっせん後融資未成立の事案がある。状況を分析し対策を求めるとともに来年度も制度継続を求める。オープンファクトリーの実施支援は町工場支援に有効である。オンライン支援やPRを積極的に行うことを求める。

■ 第四分科会 教育費関係他 ■

教育総務費の教育研究奨励事業は教科研究活動の重要性に鑑み、新型コロナ感染症下でもオンラインなどを活用し、区内での成果の共有に期待する。**学校図書館支援経費**は学校図書館コーディネーターの設置を高く評価するとともに、各学校の蔵書点検を推進し、今後の図書資料の資源共有化への環境整備を求める。また、学校図書館システムと校務システムの連携の検討を求める。さらに特別なニーズに対応する学校図書館資料の研究を進めていただきたい。

スクールカウンセラー派遣経費は資質向上の取組みを進め、スーパーバイザー導入の検討を求める。

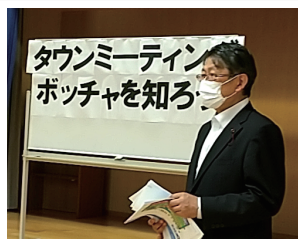
スクールソーシャルワーカー派遣経費は他関係機関との連携を深め、ブロック担当性を検討するなど更なる増員・拡充を求める。

小・中学校費の学校給食運営経費において、昨年の新型コロナの緊急事態解除後の小中学校での「簡易な昼食」の提供を評価し、直営職員が提供実施に向けて機能したことを踏まえ、今後の災害時など危機管理上必要な体制の検証を求める。

社会教育費での図書館管理運営経費はレファレンス活用を進めるための周知を求めるとともに、子ども読書活動推進計画の策定に期待する。**放課後支援事業経費**は学童保育とわくわくチャレンジ広場の今後の方向性を明確にすることを求める。

かわごえ誠一 臨時 タウンミーティング

障がい者理解を！パラスポーツ・ボッチャを知ろう！報告



◆10月9日（土）に東立石地区センターで臨時タウンミーティングを開催しました。ボッチャを知ろう！をテーマに、障がいの有無に関わらず子どもや高齢者の枠を越え、だれでもできる

レクレーションボッチャを体験しました。先日閉会したパラリンピックでボッチャがメダルを獲得し、関心が高まっている今、障がい者理解を進めるため急遽開催しました。まず、かわごえから葛飾区のオリンピック・パラリンピックのレガシーについて報告をし、その後

ボッチャ協会の大家専務理事からボッチャの成り立ち、ルール、葛飾区でのボッチャの活動などのお話ししていただき、その後、ミニコートでボッチャを体験しました。参加された皆さんはボールに触れながら熱心に質問をしていました。このような体験の機会を増やし、ボッチャが地域の中に広がり、子どもや高齢者・難病患者の皆さんが参加できるようにしたいと思います。



ボッチャを体験する参加者

雑感：今期の任期も残すところ1ヶ月を切りました。改めてこの区議会レポートをお受け取りいただき感謝申し上げます。総選挙が10月31日投開票に確定し、区議選の告示日と重なる異例の日程となりました。その中でどのように葛飾区での政策

をお伝えしていくか、とても悩ましく感じています。「葛飾区を少しでも良くしていきたい」「生きづらさを抱えている人が少しでも豊かに生きられる社会を目指していきたい」その思いを実現させるため残す任期を全力で活動してまいります。